

抗血栓薬内服中に当院で画像検査を受けた患者様へ

課題名「抗血栓療法における脳表へモジデリン沈着と水頭症の関連性の解明」

1. 研究の背景

脳表へモジデリン沈着症は、脳の表面のくも膜下腔に持続的にまたは反復して出血することで赤血球中の鉄がへモジデリンとして沈着する病態です。難聴や小脳失調、認知機能障害など多彩な症状を呈します。また、近年、抗血栓薬を内服中に、脳表へモジデリン沈着を呈したとする報告があります。また、脳表へモジデリン沈着症と認知機能障害、尿失禁、歩行障害を三徴とする水頭症の関連についても示唆されています。しかし、これらの関連性に関しては未だ明らかではありません。

2. 研究内容

患者様のデータから、画像的特徴や臨床経過から詳細な評価を行い、症状出現の機序やその予測因子を見出すものです。

3. 対象

対象は、2015年1月から2016年12月までの間に、抗血栓薬内服中に当院にて画像検査を受けられたすべての患者様とします。

4. 研究の方法

脳神経外科の通常の診療において得られた、診療録やMRIなどの画像検査の閲覧を行い、それらの試料を見返し検討するものです。

5. 個人情報保護への配慮

本研究調査を行うにあたっては、患者氏名や患者番号などを取り除いたうえで研究試料として使わせていただきます。このような情報を除いたものであっても金沢大学脳神経外科の管理者が責任を持って厳重に保管します。集計したデータについては本研究のためにのみ使用します。

この研究調査の対象になる方々については、ご協力いただけるか否かについては自由意志です。ご参加を希望されない場合はお手数ですが、2017年4月1日までに研究責任者までご連絡いただけますようお願いいたします。またいったん同意なさる意向でありましても、後に同意を撤回される場合には研究期間内であればその時点でデータを取り除いた状態で集計報告を行います。なお、参加を希望なさらない方についても、今後本疾患に関する検査や治療を行う際に不利益となるようなことはありません。

6. 研究に伴う費用負担

この研究は通常の保険診療行為の範囲内で行われ、新たな費用は発生しません。

7. 研究に関する窓口

この研究の内容について、疑問、質問、更に詳細な情報を知りたいなどがありましたら、当科へ御連絡ください。

金沢大学附属病院 脳神経外科
研究責任者 林 康彦 電話 076-265-2384